

令和3年度 事業実施報告（令和2年度からの継続事業②）

WG名	出雲市内資金循環促進ワーキンググループ
WG構成員	株田中種苗 代表取締役 田中 充 他3名
モデル事業名	持続的な出雲市内における資金循環型経済圏域創造事業
事業概要	消費に伴う市外への資金流出を防ぐため、地元小売店でできるだけ買い物が完結できる仕組づくりを検討していく。地元の消費者に付加価値（メリット）を提供するための手法の検討や消費者目線での現状分析に基づいた新たなビジネススタイルの考察などを通じ、市内で資金が循環する経済モデルの創造に取り組む。
令和3年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な市内資金循環促進について、コーディネーターを招き、勉強会や研修会を開催して理解を深めた。 ・学習成果を活用し、地域内資金循環の実態を検証するため、キャッシュレス決済アプリを利用した実証実験を検討した。 ・アプリを運用している金融機関と協議し、実証実験の計画の具体化に取り組んだ。
令和3年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修会の開催を通して、小売業として地域に密着・貢献し、付加価値を提供する手法について検討することができた。 ・地域内資金循環における課題の発見や解決策の検討などを行うための実証実験の計画を策定し、具体的な準備に着手した。
令和4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き持続的な市内資金循環促進についての勉強会を、コーディネーターを招いて開催し、WG内での理解を深める。 ・地域内資金循環を検証する実証実験を実施する。 ・実証実験にあわせ、地域内資金循環の啓発活動に取り組む。 ・消費者の決済データ、事業者の仕入れ簿により、地域内資金循環の実態を調査・分析する。 ・消費者、事業者へのアンケートにより、地域内資金循環についての意識調査を行う。 ・結果を検証し、地元消費を高め地域内資金循環を促進するための手法を提言する。



ワーキンググループ 会議の様子



実証実験計画図（案）